

園芸市場情報

令和8年6月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部生産振興課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

6月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年並で、相場は前年をかなり下回るか！

果実類は、入荷量は前年をやや上回り、相場は前年をやや上回るか！

花きは、入荷量は前年をやや下回り、相場は前年をやや下回るか！

<今月の写真>

* びわのPR活動が行われました *

全国果樹研究連合会びわ部会では、びわの認知度の向上と地域農業の振興のため、5月23日を「びわの日」と制定し、併せて新キャラクター「ビワードくん」を作成しました。

制定初年度となった今年は、東京青果(株)マンモス競売場にて5月21日(木)にびわの日のPR活動を実施し、長崎県、香川県、千葉県の3県協力のもと、「びわの日」及びびわの魅力を広く周知しました(写真1~4)。

また生産振興課首都圏MCでは、千葉県産農産物の魅力発信と消費拡大を目的として、(株)NECライベックスと連携し、日本電気(株)の社員食堂でデザートにJA安房のびわが入ったランチを提供しました。「立派なびわですね」、「これを楽しみに出勤しました」等うれしい反応を多くいただきました(写真5、6)。

6月中旬ころまで楽しめる「初夏の香り」露地びわをぜひお楽しみください！

※びわの日とは？

5月下旬が全国のびわの出荷が出揃う時期であること、またびわは房状に実る果実であることから、23を「ワサ」と読み替えて、5月23日がびわの日として制定されました。



1 東京青果(株)川田社長と産地代表者で記念撮影。2 市場関係者にびわをプレゼント。3 「びわ」と「ワールド」をかけて「ビワードくん」。4 3県のポスターと化粧箱。どれがお好み？ 5 JA安房のびわが1個付き。6 NEC社員さんからも大好評！

CONTENTS (目次)

I 青果情報 5月（中旬まで）の経過 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格 6月の見通し 今月の青果物 特集「大玉すいか」	1頁
II 花き（切花）情報 5月（中旬まで）の経過（販売経過、品目別経過） 6月の見通し（カーネーション、トルコキキョウ、バラ） 5月の入荷量と単価の経過 <確定値>	6頁
III やっちゃんば閑話 「すいかをめぐる情勢」	7頁
IV 首都圏掲示板 ・「フラワーショップ社員に向けた産地見学会」が JA 安房西岬・神戸地区 で開催されました！！	8頁

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	：前日に比べ大幅に価格が上がる。（3割程度以上）	変動の幅を示す用語	平年並	：±3%未満
	強い	：前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	：±3~6%未満
	強保合	：前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	：±6~16%未満
	保合	：前日とほとんど同じ価格。		大幅	：±16%以上
	弱保合	：前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	：前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	：前日に比べ大幅に価格が下がる。（3割程度以上）			
まちまち	：産地、品種により、価格の騰落が異なること。				

I 青果情報

1 4月下旬～5月中旬の経過

気象 4月下旬は、全国的に高温基調となった。東・西日本では低気圧や前線の影響を受けやすく、降水量は西日本太平洋側で平年よりかなり多く、日照時間は東日本太平洋側・西日本で平年より少なかった一方、北日本太平洋側と沖縄・奄美は平年より多かった。

5月に入ると、上旬は暖かい空気に覆われやすかった北・東日本で高温となり、低気圧や寒気が通過した北日本太平洋側と、梅雨前線の影響を受けた沖縄・奄美でそれぞれ多雨となった。中旬は本州付近を中心に高気圧に覆われ、北・東・西日本でかなり高温となり、広い範囲で少雨・多照となった。

野菜類

入荷量 「キャベツ類」「たまねぎ」「ばれいしょ類」を中心に入荷。

「キャベツ類」は5月上旬に品種の切替えによる端境で数量が減少し、その後一時的に回復したものの不安定な入荷が続いた。

「にんじん」は徳島県産が漸減していく中、関東産へ切り替えが進み数量が増加した。

野菜全体では、4月下旬から5月中旬までの入荷量は103,497t（前年比93.4%）と前年をかなり下回った。

相場 大型連休から母の日にかけては全体的に販売が伸び悩み、期待したほどの需要喚起には至らず、品目によっては高値疲れや販売苦戦も散見された。

「キャベツ類」は不足感が続き、高値傾向での販売となった。

「にんじん」は大型連休後に販売が鈍化し、安値での展開となった。なお、前年に高値が続いたことから今年はそれを大幅に下回る価格が続いた。

野菜全体では、4月下旬から5月中旬までの価格は295円/kg（前年比101.9%）と前年並であった。

果実類

入荷量 「かんきつ類」「すいか類」「いちご類」を中心に入荷。

「かんきつ類」は「不知火」をはじめとした晩柑類は豊作傾向の一方、気温上昇に伴う品質劣化が散見された。

「ぶどう類」ではハウス栽培の入荷が始まり、4月中旬から入荷が始まっていた「もも類」も徐々に増量していった。

果実全体では、4月下旬から5月中旬までの入荷量は18,703t（前年比98.8%）と前年並であった。

相場 販売金額は「いちご類」「かんきつ類」「すいか類」の順に大きかった。

「かんきつ類」は上述の理由から販売は苦戦し、安値傾向となった。「すいか類」も高値となった前年を下回る相場が続いたが、販売は好調。

「ぶどう類」「もも類」は高価格帯を牽引する輸出向けが前年ほど振るわず、荷動きは鈍かった。

果実全体では、4月下旬から5月中旬までの価格は610円/kg（前年比93.6%）と前年をかなり下回った。

東京都中央卸売市場における入荷量と価格

2026年4月下旬～5月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	4月下旬				5月上旬				5月中旬				4月下旬～5月中旬合計			
	開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年6日・前年7日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年20日・前年21日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	35,261	93.1	301	98.3	31,473	85.7	299	104.8	36,763	101.5	285	103.5	103,497	93.4	295	101.9
うち外国産	1,002	92.9	283	105.6	773	77.7	321	111.4	881	99.3	319	111.4	2,655	89.7	306	109.2
果実総量	6,823	101.0	611	92.1	5,427	89.6	639	95.5	6,454	105.6	585	94.0	18,703	98.8	610	93.6
うち外国産	603	65.2	399	119.1	645	62.6	444	121.1	711	75.9	421	115.9	1,959	67.7	422	118.7

主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	4月下旬				5月上旬				5月中旬				4月下旬～5月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	2,487	89.3	111	98.2	2,281	88.9	109	101.3	2,001	89.0	108	102.5	6,769	89.1	109	100.4
にんじん	2,333	88.4	156	58.2	1,818	85.3	156	77.7	2,742	111.6	138	79.3	6,893	95.4	149	68.9
はくさい	1,956	104.2	67	89.4	2,145	92.2	70	116.1	1,875	105.3	59	114.5	5,975	99.8	65	105.3
キャベツ類	4,963	92.4	111	99.9	4,272	81.0	109	115.4	4,237	86.7	113	145.3	13,472	86.7	111	116.9
ほうれんそう	503	96.3	460	105.5	490	103.3	418	97.8	455	100.5	461	102.2	1,448	99.9	446	101.9
ねぎ	1,164	109.9	280	68.3	1,021	93.3	337	78.2	1,128	101.4	373	88.2	3,314	101.5	329	78.1
レタス類	1,936	80.0	191	126.8	1,789	74.8	186	139.6	1,958	92.3	175	133.6	5,683	81.9	184	132.7
きゅうり	2,129	88.0	339	117.9	1,809	82.7	361	129.5	2,490	106.1	311	114.6	6,428	92.5	334	119.7
なす	690	69.6	462	126.3	656	68.9	502	146.7	879	97.2	430	117.2	2,225	78.1	461	128.7
トマト	2,115	94.4	393	101.9	1,780	82.5	387	103.2	2,093	92.8	388	107.9	5,988	90.0	389	104.3
ミニトマト	812	107.3	552	99.2	715	81.6	523	103.5	761	98.0	537	113.6	2,288	95.0	538	105.3
ピーマン	741	82.0	589	97.9	695	78.9	599	111.8	814	96.4	562	122.3	2,250	85.6	582	109.1
さといも	68	97.4	365	104.0	37	79.8	418	106.2	40	94.3	420	90.1	144	91.4	394	99.9
ばれいしょ類	2,083	106.2	353	93.6	2,259	97.0	297	99.6	3,413	120.3	198	80.3	7,756	108.8	268	89.7
たまねぎ	3,338	98.2	183	102.9	3,037	111.0	156	93.6	4,271	141.9	116	72.8	10,647	116.4	148	88.1
生しいたけ	169	93.4	944	99.6	160	92.5	963	98.9	153	92.5	963	100.2	482	92.8	956	99.6
かぼちゃ	708	112.9	284	128.5	457	70.3	296	129.3	555	96.3	333	144.1	1,720	92.8	303	133.5
さやえんどう	3	30.0	1,651	150.1	2	37.9	1,899	154.9	3	56.7	1,504	117.5	7	38.7	1,661	141.1
かんしょ	553	100.3	291	97.6	409	93.3	300	93.3	395	101.7	316	89.7	1,357	98.5	301	93.8
かぶ	358	88.1	141	97.3	350	80.1	139	101.8	411	90.9	133	105.6	1,118	86.4	137	101.4
ごぼう	108	92.1	424	75.6	86	84.8	402	70.1	101	107.4	446	78.3	295	94.3	425	74.9
こまつ菜	442	93.4	284	96.5	356	79.9	256	112.9	406	90.1	264	124.3	1,205	87.9	269	109.6
こねぎ	140	85.2	719	97.4	118	73.2	807	111.6	120	78.5	908	125.6	378	79.1	807	110.7
糸みつば	40	83.8	443	111.0	39	81.2	429	109.1	40	94.9	437	111.0	119	86.3	436	110.4
しゅんぎく	28	111.0	896	102.3	28	112.8	730	81.6	28	103.9	635	87.8	83	109.1	754	91.0
にら	252	91.0	450	77.8	213	80.6	439	93.9	235	98.3	451	99.4	699	89.7	447	88.9
セルリー	181	94.7	339	102.4	185	88.1	393	114.1	190	106.2	389	118.2	556	95.8	374	111.6
カリフラワー	94	113.7	259	98.5	86	82.1	232	100.3	87	76.1	249	111.5	267	88.5	247	104.2
ブロッコリー	1,008	82.7	474	107.9	842	67.8	470	124.3	736	63.2	587	150.4	2,585	71.3	504	125.4
サラダな	20	91.7	435	104.2	18	68.8	454	132.9	20	99.3	426	122.6	58	85.1	438	119.1
パセリ	11	90.3	1,118	106.2	10	81.1	1,315	112.9	11	104.8	1,141	103.1	32	91.6	1,186	107.1
チンゲンサイ	126	99.8	299	92.6	113	89.7	290	99.0	126	99.8	272	98.8	365	96.5	287	96.6
エンダイブ	2	62.0	901	156.0	2	75.3	908	123.4	2	79.6	743	105.8	6	72.3	845	125.9
とうもろこし	41	127.3	675	103.7	49	103.0	741	113.6	137	116.6	590	101.0	228	115.1	638	104.3
いんげん	36	69.9	1,443	126.4	41	73.9	1,331	123.0	62	91.2	1,138	116.6	139	79.5	1,274	120.4
そらまめ	101	75.8	758	120.5	93	52.2	765	121.1	136	84.6	702	126.6	330	69.9	737	121.9
えだまめ	14	136.0	2,028	95.6	25	95.5	1,898	99.4	45	106.7	1,694	104.6	84	106.9	1,811	101.6
やまといも	28	105.9	756	105.9	24	72.7	786	109.6	23	77.5	770	107.5	75	84.3	770	107.5
根しょうが	77	87.4	1,082	116.1	70	71.8	1,095	120.1	87	77.8	1,098	115.4	234	78.7	1,092	117.1
マッシュルーム	50	131.5	724	74.2	40	102.1	785	81.8	40	98.4	797	89.9	130	110.2	765	81.5

品目 (果実)	4月下旬				5月上旬				5月中旬				4月下旬～5月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	6	84.9	2,577	124.8	8	181.4	2,176	128.6	13	84.4	1,872	79.6	27	99.5	2,123	97.8
かんきつ類	2,161	118.8	336	87.8	1,280	117.1	341	92.4	1,540	173.3	312	85.2	4,980	131.0	330	88.0
りんご類	1,224	98.3	414	87.3	870	84.5	438	90.9	968	99.2	452	93.0	3,062	94.2	433	90.1
(ふじ)	967	102.0	422	86.6	680	89.0	440	88.3	678	93.3	470	92.6	2,326	95.4	441	88.8
いちご類	1,250	80.7	1,260	104.0	963	85.9	1,148	101.8	882	96.4	1,071	102.7	3,095	86.4	1,171	102.6
いちじく類	4	189.7	2,797	93.7	5	106.5	2,203	87.7	7	132.8	2,369	104.1	15	132.0	2,416	97.6
メロン類	453	111.3	811	90.9	642	90.9	779	97.5	777	97.6	705	98.7	1,872	98.0	756	96.5
(アールスメロン)	83	86.3	1,250	90.4	77	98.4	1,290	87.9	83	95.3	1,155	94.5	243	92.9	1,230	90.8
すいか類	1,127	119.9	396	83.5	1,050	99.2	385	82.3	1,507	94.8	391	95.2	3,684	102.7	390	88.0
(すいか大玉)	914	117.5	360	79.0	841	98.4	349	77.9	1,173	89.9	357	91.7	2,927	99.7	355	83.9
(こだますいか)	213	131.4	551	97.4	209	102.6	528	96.1	334	117.5	510	100.3	757	116.3	527	98.3
ぶどう類	41	92.7	949	132.6	38	65.5	1,663	96.9	50	88.6	2,262	96.9	130	81.3	1,669	100.7
(シャインマスカット)	0	65.9	17,339	108.6	3	64.9	9,313	93.9	8	83.9	7,303	98.6	11	77.4	7,997	95.6
(デラウェア)	2	287.5	5,252	106.9	2	73.5	4,069	94.1	2	67.6	3,797	114.9	7	93.5	4,359	112.6
その他ぶどう	38	88.5	555	106.3	32	65.3	564	98.5	37	96.4	791	121.0	107	82.1	639	110.3
マンゴー	19	175.4	5,013	77.3	31	134.3	4,571	82.5	31	122.5	3,857	84.5	81	136.9	4,403	83.1
びわ類	26	140.7	2,432	93.7	24	70.3	2,208	93.1	35	129.4	2,008	87.3	85	106.5	2,195	91.5
もも類	2	179.9	6,376	102.5	6	98.2	4,091	95.2	16	137.4	3,573	89.6	24	128.2	3,981	93.8

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	4月下旬				5月上旬				5月中旬				4月下旬～5月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	2,082	89.8	112	97.3	1,791	85.4	108	98.6	1,640	87.2	107	102.2	5,513	87.6	109	99.2
にんじん	69	80.0	195	83.0	168	80.9	184	81.6	562	102.5	166	83.6	799	94.9	172	82.4
キャベツ類	1,159	112.7	108	84.1	1,098	80.9	117	113.1	1,604	92.5	115	127.3	3,861	93.7	113	108.9
ねぎ	361	98.4	256	62.3	257	93.0	294	71.2	194	85.6	357	87.6	811	93.4	292	71.2
レタス類	27	96.2	442	113.0	15	63.2	613	148.3	9	79.4	922	145.2	51	81.1	573	129.7
きゅうり	260	114.2	308	113.6	185	96.4	311	118.9	229	130.3	278	106.4	674	113.2	298	112.6
なす	14	70.0	439	112.1	15	66.3	443	130.3	23	73.7	427	129.8	52	70.4	435	124.4
トマト	112	107.3	341	101.7	101	78.3	338	105.1	157	110.5	331	105.5	370	98.6	336	104.2
ミニトマト	40	64.5	621	100.2	29	43.3	627	109.0	46	72.3	615	111.3	115	59.6	620	106.5
ピーマン	1	119.4	818	98.8	2	145.8	766	109.7	3	176.2	660	97.2	7	150.0	730	100.4
さといも	14	138.9	386	100.2	12	61.0	437	96.5	10	42.7	463	87.1	37	67.7	425	89.3
たまねぎ	62	88.2	187	97.3	139	84.8	143	95.5	217	180.9	101	72.9	418	118.1	128	82.8
かんしょ	331	100.9	292	99.3	264	95.9	303	94.8	229	100.8	318	89.5	823	99.2	303	94.8
かぶ	278	83.3	146	99.1	284	79.0	143	103.6	347	93.1	135	105.6	910	85.3	141	102.5
とうもろこし	0	-	432	-	0	22.4	402	122.2	11	101.6	593	101.9	11	95.3	588	105.1
なのはな	9	183.1	1,513	76.4	4	174.7	1,487	69.3	1	101.3	1,448	85.5	14	170.1	1,500	75.4
いんげん	11	113.9	1,748	109.9	18	88.3	1,526	112.0	28	86.3	1,260	114.3	57	91.1	1,436	113.9
そらまめ	9	192.1	797	109.8	39	109.2	789	123.5	70	101.1	701	123.6	119	107.7	738	123.5
えだまめ	2	321.1	2,165	113.8	7	185.2	1,788	90.4	15	123.2	1,572	110.2	23	143.5	1,678	107.2

品目 (果実)	4月下旬				5月上旬				5月中旬				4月下旬～5月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
いちご類	14	64.3	1,208	104.8	12	71.0	1,146	108.3	11	75.5	1,044	105.2	36	69.5	1,140	105.6
(とちおとめ)	6	47.5	1,159	103.4	6	53.6	1,048	104.1	5	66.4	953	110.0	16	54.0	1,062	103.9
その他いちご	8	89.0	1,247	103.5	6	104.1	1,239	107.0	6	87.3	1,113	99.2	20	92.6	1,204	103.3
メロン類	2	58.1	1,003	97.1	3	154.2	1,161	116.6	4	54.5	668	103.3	9	68.4	875	113.0
(アールスメロン)	2	60.9	1,003	95.7	3	189.0	1,161	104.5	1	54.9	1,001	100.8	5	85.1	1,075	103.5
すいか類	14	163.5	518	110.0	55	81.5	420	88.7	233	85.7	399	98.3	301	86.7	408	97.0
(すいか大玉)	0	-	0	-	29	81.7	351	84.8	192	86.6	379	97.8	221	85.2	375	96.1
(こだますいか)	14	220.5	518	99.7	26	81.2	499	92.0	41	81.6	491	101.0	80	91.4	498	97.9
びわ	1	1445.3	4,060	100.5	2	264.4	3,461	89.4	3	139.7	3,070	88.7	6	204.7	3,373	94.0
ブルーベリー	0	375.0	4,162	96.3	0	202.2	4,261	103.9	0	189.4	4,216	109.8	0	201.8	4,223	107.3

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。-は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料: 東京青果物情報センター速報

2 6月の見通し

野菜

多くの品目で産地の切り替わりが進む月となる。東北・北海道では寒さによる生育遅れが顕著だった昨年とは逆で、高温による生育の前進化がみられる。「ブロッコリー」は長野県・北海道ともに前進出荷の予想だが、前段産地も気温上昇に伴い前進傾向にあるためスムーズな交替となる見込み。

「とうもろこし」は各産地生育順調で中旬ごろから潤沢な出荷が見込まれる。「ばれいしょ類」は中旬まで長崎県産が多く、相場は下落傾向が続き、「たまねぎ」も上旬までは流通量が多くなり、以後は流通量の減少に伴い相場も上向くと考えられる。

6月の野菜全体の入荷量は平年並で、価格は前年をかなり下回り平年並となる見込み。

果実

重量順で「メロン類」「すいか類」「りんご類」が中心となる。「メロン類」は茨城県、千葉県など各地で生育順調で大玉傾向。「すいか類」は熊本県産が前進傾向で数量減につき、6月中旬にやや端境となる見込み。「りんご類」は量が少なく高値傾向なため荷動きは鈍いと予想される。

「おうとう」は2年連続で不作となった山形県が今年は生育順調で、今年は前年を大幅に上回る数量となる見込み。

6月の果実全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや上回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (主産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	↘↘	↘	↗↗	主産地は青森県、北海道。東北・北海道産は干ばつの影響で形状不良が散見されるが、気温が高いことから平年よりピークが早い見込み。中旬に青森県産が増加する見通し。予想入荷量は少なかった前年並で平年をかなり下回る見込み。
にんじん	↗↗	↘	↓↓↓	↑↑	主産地は千葉県で、他産地もおおむね順調な生育。抽苔が散見され、降雨によるしみ症の発生も懸念されるが、中旬ごろまでは安定した入荷量となる見込み。後続の北海道(新はこだて)は平年よりも10日程度早い出荷開始となりそう。予想入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年をやや下回る見込み。
キャベツ類	↗↗	⇒	↗↗	↘	主産地は千葉県、茨城県、群馬県。中旬までは千葉県産、茨城県産の残量があり、後続も群馬県産は霜害がほぼなく順調な入荷を見込むなど、各産地順調で中下旬に微増となる見込み。予想入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年並の見込み。
ねぎ	↗	⇒	⇒	⇒	主産地は茨城県、千葉県。上旬に初夏ねぎトンネル作のピークを迎え、下旬から夏ねぎ露地作の入荷が始まる。生育、入荷量ともにおおむね順調で、下旬から秋田県産の入荷も始まる見込み。予想入荷量は前年をやや上回り、平年並となる見込み。
きゅうり	⇒	↘↘	↘↘	↗↗	主産地は埼玉県、福島県。関東産地は中旬ごろから成り疲れにより漸減し、総体としても月後半は入荷減となる見込み。予想入荷量は梅雨入りの時期次第で数量は大きく変動しそうだが、各産地で作付け減と5月下旬の曇天から入荷量は少なかった前年並で、平年をかなり下回る見込み。
トマト	⇒	↘↘	⇒	↗↗	主産地は栃木県、北海道。上中旬は長段・無加温・夏秋等各作型が重なり潤沢な入荷となる見込みで、下旬は熊本県等終了する産地もあるため端境となることが見込まれる。北海道産は玉流れはL中心の大玉傾向で出荷ベースも順調。予想入荷量は少なかった前年並で平年をかなり下回る見込み。
大玉すいか	⇒	⇒	↗↗	↗↗	主産地は鳥取県、熊本県、千葉県。鳥取県産は前年比3~4日早い生育で、着果数も前年並に確保されており、玉肥大も3L中心と順調。熊本県産は前進傾向につき6月は数量減少の見込み。千葉県産はこれまでやや小玉傾向で推移したが、6月分は徐々に玉肥大していく見込み。予想入荷量は前年・平年並を見込む。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並:±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低:±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低:±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低:±16%以上

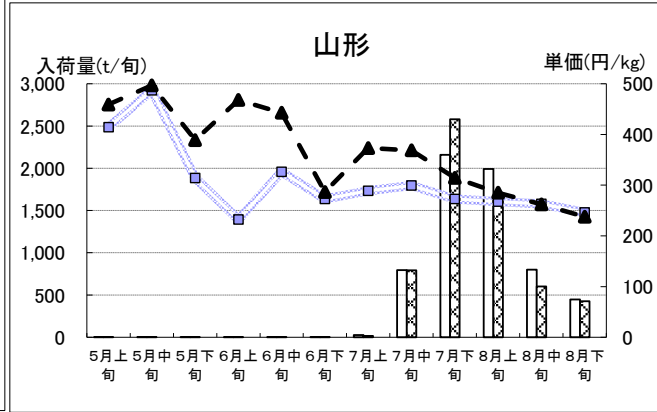
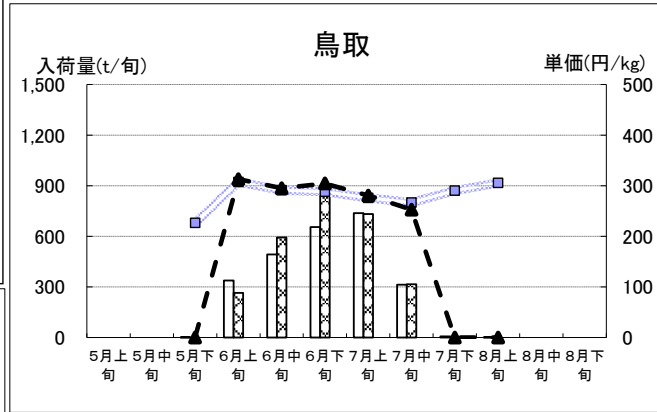
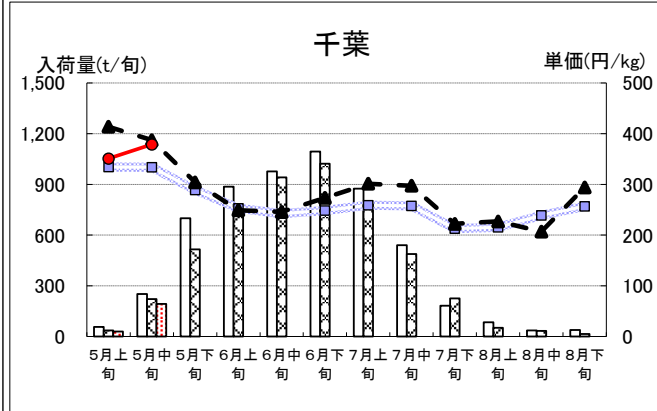
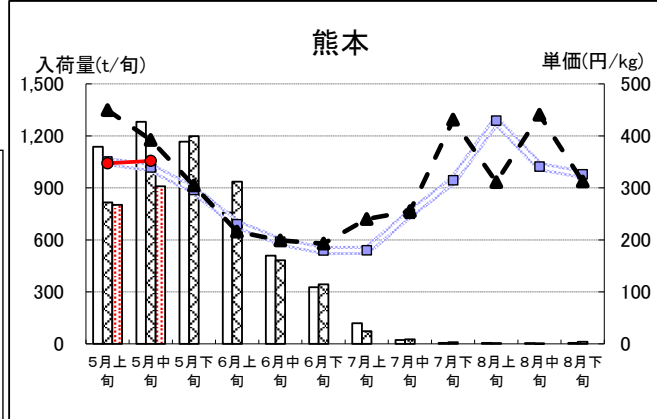
3 今月の青果物

大玉すいか

主要産地の大玉すいかの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2025年度6月入荷量	2025年度6月シェア率
熊本	1,761 t	25.5 %
千葉	2,713 t	39.2 %
鳥取	1,708 t	24.7 %
山形	4 t	0.1 %

6月入荷予測	6,800t(前年比98.3%、平年比99.7%)		
6月価格予測	270円(前年比106.5%、平年比110.2%)		
6月市況予測	(上旬) 強保合 ↗	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 保合 ⇒



今後の競合産地の動向は?

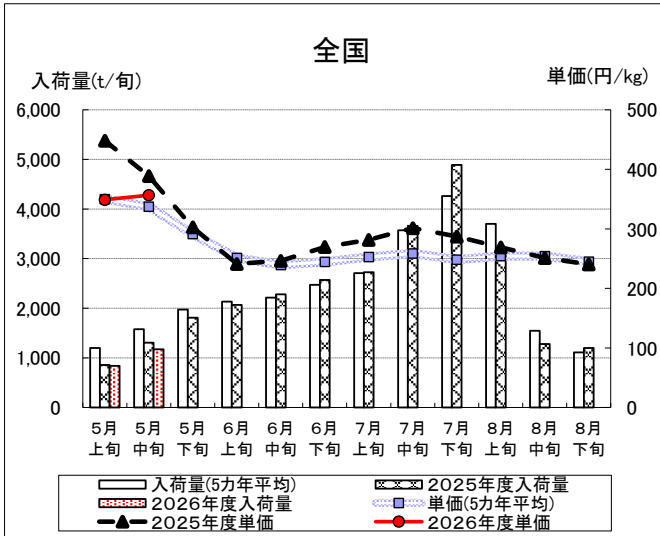
東京都中央卸売市場における大玉すいかは、4～9月を中心に回り、主産地は熊本県、千葉県、鳥取県、山形県等です。令和7年度6月のシェア率は、千葉県39.2%、熊本県25.5%、鳥取県24.7%、山形県0.1%となっています。4～6月は熊本県、5～7月は千葉県、6～7月は鳥取県、7～8月は山形県と主産地が切り替わることで、全国で産地リレーが行われています。

今年度は、どの産地も生育及び玉の肥大が良好であり、6月は潤沢な入荷を見込んでいます。熊本県は5月下旬から入荷がピークとなり、鳥取県は6月下旬から7月上旬にかけて入荷ピークとなる予定です。千葉県産は富里、八街、山武を中心に5月下旬からハウス物の入荷がピークとなっています。6月以降は露地物が入荷予定となっています。ハウス物と露地物の端境期も少なく、安定した入荷が見込まれます。

すいかの最大のシーズンとなる夏に向けて、競合産地からも入荷量が多くなる中、千葉県では主要卸売会社、JAグループ、産地が一丸となり、首都圏の量販店において3産地合同でのすいかフェアを開催するなど販売促進活動を積極的にを行っています！ぜひ、この機会に千葉のすいかをご賞味ください！



首都圏量販店におけるすいかフェアの様子(令和8年6月6日実施)



II 花き(切花)情報

5月(中旬)までの経過

国内の天候不順により4月下旬～5月上旬は入荷量が前年を下回り、単価の高い「物日相場」となり、相場は前年を大幅に上回った。5月中旬については、入荷量は前年を大幅に上回っているが、相場も前年を大幅に上回っている。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	天候不順により、4月下旬は前年を大幅に下回り、5月上旬は前年をやや下回った。中旬に入ると、前年を大幅に上回っている。
相場	カーネーションは天候不順による国内の出荷量減少+現地の天候不良や延着の影響によるコロンビアの輸入量減少もあり、全体的に入荷が少なく、4月下旬～5月中旬の相場は前年を大幅に上回っている。5月8日の競りでは、赤のカーネーションが最高値280円をつける場面もあった。
動向	今年の母の日は、全体的に入荷が少なく、単価の高い「物日相場」となり、売上として伸びた一方で、仕入れ価格の高騰により、利益面では薄利となった可能性あり。販売チャネルによって明暗が分かれ、配送料の値上げの影響が大きく、スーパーや量販店の動きは鈍かったところもあったとのこと。

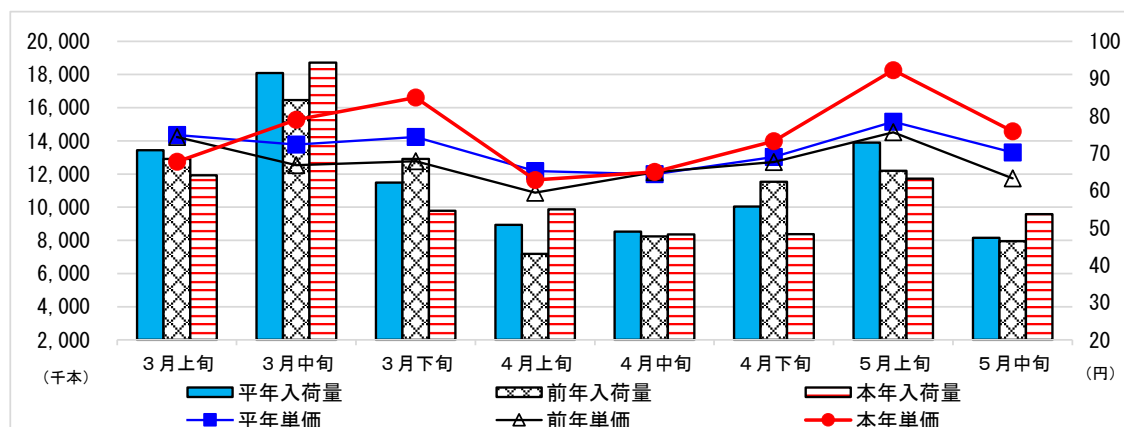
品目別経過

品目	経過
カーネーション	(株)東日本板橋花き 母の日需要中心。昨年よりコロンビアからの輸入数量が減少し、高値相場が長く続いた。5月下旬より改植に入る産地が増え、数量は徐々に減少していく。
コギク	(株)大田花き 沖縄は5月4日に梅雨入りとなり、例年より圃場での破棄が多く、数量少なめの入荷となった。内地産に関しては例年よりやや早めの出荷となり、徐々に数量が多くなっている。

6月の見通し

品目	見通し
ヒマワリ	(株)大田花き 本年の父の日は6月21日と一番遅い日めぐり。北海道、千葉中心に品種バリエーションも豊富になる見通し。
リシアンサス	(株)大田花き 静岡、愛知、熊本の2番花が増加してくる。中旬には、長野、福島も出荷開始となり、徐々に増加し始める。
バラ	(株)東日本板橋花き 暖地の出荷量が減ってきて、高冷地メインの出荷量となってくる。父の日は黄色系の注文が多く、品薄が見込まれる。輸入物も注文対応以外は少なめとなる見込み。

5月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均

III やっらやば閑話

「すいかをめぐる情勢」

夜更かしを生きがいにしてきた私でしたが、21:00には子どもと一緒に寝て(いや子どもよりも先に?) 4:00に起きて、始発で大田市場に向かう生活にも慣れてまいりました。

さて、ここ最近の青果棟は、見渡す限り熊本、千葉、鳥取等のスイカで占拠されています。昨年まで富里市でスイカの担当をさせていただき、また前職鳥取県でもスイカをかじらせてもらっていたこともあり、スイカへの思いはひとしおです。そんなこともあり、昨年までもやっていたのですが、すいかをめぐる情勢を稚拙ながらまとめてみました。

①作付面積、単価について

- ・全国、主産県の作付面積は右肩下がり。一方単価は、供給減少に伴い、年々右肩上がり。
- ・作付面積を県別に5年前と比較すると、北海道は106%と伸びているが、他産地は軒並み減少。その中でも減少率の低い山形県、鳥取県は、JA、市町、県等の関係機関で連携をとり、「山形すいか農学校」、「産地体験会」等担い手確保に向けた取組を進めており、成果が出ている。
- ・ちなみに(データは省略するが、)鳥取県の出荷量(R6/R元)は106%と増加している。

※富里市でも「富里すいか産地体験会」と題し、R6年から実施中。

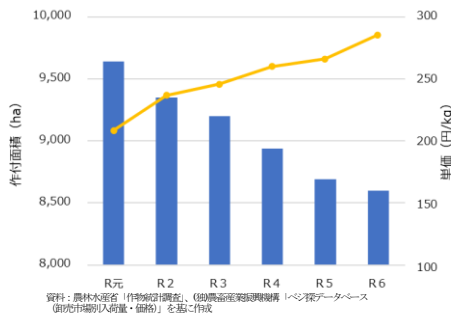


図1 全国のスイカ作付面積及び単価の推移

	R元	R2	R3	R4	R5	R6	単位: ha R6/R元
全国	9,640	9,350	9,200	8,940	8,690	8,600	89%
北海道	311	313	318	318	306	329	106%
山形	810	798	785	765	765	770	95%
千葉	1,010	978	974	947	916	921	91%
新潟	523	513	505	480	432	430	82%
長野	333	314	304	295	283	298	89%
鳥取	375	372	368	374	372	369	98%
熊本	1,330	1,290	1,280	1,260	1,240	1,190	89%

資料: 農林水産省「作物統計調査」を基に作成

表1 全国、主産県におけるスイカ作付面積の推移

②消費動向について

- ・スイカは記録的猛暑により、①最盛期である7~8月の支出がより高まり、②6、9~10月の今まで販売が少なかった期間も取り扱いが増えたため、年間のスイカ支出金額が増えている(物価高の影響もありながらも、すいかを食べたい期間が今までより長くなっている)。
- ・一部仲卸からは「猛暑によりメロン(特に青肉)の棚持ちが悪いため、その時の代替品が小玉すいかとなっている」という話があり、メロンの取り扱いが減っているということであったが、データ上でもそのような傾向が見られた。

		単位: 円												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
スイカ	R元	0	1	2	34	152	259	377	416	55	4	1	1	1,302
	R6	0	1	4	45	116	267	492	433	79	8	2	2	1,449 147円UP
メロン	R元	13	6	13	37	137	244	276	159	36	13	17	14	965
	R6	8	8	10	29	145	262	248	125	47	22	19	24	947 18円DOWN
生鮮果物	R元	2,659	2,646	2,747	2,583	2,554	2,683	3,198	3,695	3,459	3,008	2,936	3,575	35,743
	R6	2,821	2,835	2,872	2,657	2,642	2,820	3,395	4,047	3,907	3,445	3,344	4,130	38,915 3,172円UP

資料: 総務省「家計調査(品目別)支出金額」を基に作成

表2 スイカ、メロン、生鮮果実における年別月別支出金額

(脱藩普及員)

IV 首都圏掲示板



「フラワーショップ社員に向けた産地見学会」が JA 安房西岬・神戸地区で開催されました！！

5月26日、JA 安房西岬・神戸地区において、都内・大阪に20店舗ある生花店チェーン「レミルフォイユ ドゥ リベルテ（以下「リベルテ」という。）」の採用2年目の社員12名を対象に、ヒマワリ・リシアンサスの産地見学会が全農千葉県本部、JA 安房の主催で開催されました。過去には、(株)大田花きが主催で20数年前から4回程度開催しており、今回は8年ぶりの開催とのことでした。

初めはJA 安房神戸支店の花き集荷場の予冷库を見学し、その後、西岬地区のヒマワリ・神戸地区のリシアンサスの生産者施設を見学しました。生産者からは、「このくらいで切って出荷しているけど、店舗で花の開きはどうかな」等切り前の質問があったり、ブライダル担当のリベルテの社員からは、「産地としてヒマワリの芯白は少ないということであったが、芯黒ばかりだとブーケにした際にきつい印象があるため、芯白もほしい」といった意見がありました。また今回参加したリベルテの社員は、配属先が店舗だけでなく仕入れ担当の方もいたため、生産者から「リシアンサスの一重は売れるか」という質問に対し、「ブーケを作る際に、安価でボリュームを出せるので、一定ニーズはあると思う。自分は結構仕入れている。」という話もあり、意見交換は大変盛り上がっていました。

6月からは各店舗でJA 安房のヒマワリフェアが開催され、今回の見学会で学んだ花の魅力、ストーリーを見学会参加者からお客様に繋いでくれるはずで、今年はヒマワリを添えて父の日に感謝を伝えてみてはいかがでしょうか。



1 神戸地区のリシアンサス生産者施設を視察。2 晴天の昼間の施設に入り、暑さを体感。
3 西岬地区のヒマワリ生産者施設を視察。4 生産者とヒマワリの切前について意見交換。



ご提供いただいている青果物及び花き産地情報について

首都圏マーケティングセンターでは、青果物及び花きの産地情報の提供を、全農業事務所をお願いしています。いただいた情報は、他県やJA全農、経済連、卸売会社との情報交換会議の基礎資料として活用するほか、農林水産省や花きの仲卸・小売店等の流通業界に情報提供しています。

生育情報や産地の様子、取組等の積極的な情報発信に向けて、引き続き毎月の情報提供をお願いいたします。

～メールマガジン配信のご案内～

ホームページ情報の更新内容などをお伝えする電子メール（メールマガジン）を配信しています。ご希望の方は下記メールにてお申し込みください。

宛先 : nousin007@mz.pref.chiba.lg.jp

※タイトル欄に「メールマガジン希望」、本文に所属（勤務先）と担当者名を記入してください。